

学習指導案 略案様式（特別の教科 道徳を除く）

4年1組		指導者	〇〇〇〇	教科等	音楽科
題材	題材名	せんりつのとくちょうをかんじとろう			
	目標	評価規準	※どちらかを選択し、 <u>で囲ってください。</u>		
	知識及び技能	知識・技能	○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った音楽表現に必要な、歌唱やリコーダーを演奏する技能を身に付けている。 【A表現（1）イ・ウ（ア）（イ）、（2）ウ（ア）】		
	思考力、判断力、表現力等	思考・判断・表現	◆聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりから、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。 【A表現（1）ア、（2）ア】 ○音色、旋律、強弱、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。 【B鑑賞（1）ア・イ】		
	学びに向かう力、人間性等	主体的に学習に取り組む態度	○旋律の特徴を感じ取る学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽・鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		
	題材の学習展開（全8時間）				
	導入	□題材の学習計画を立て、学習の見通しを持つ。 ・歌唱“ゆかいに歩けば”をきっかけに旋律の特徴と曲のまとまりとの関連に気付く。			
展開	□聴き取ったことと感じ取ったことをもとに、どのように歌ったり、リコーダーを演奏したりするかについて、曲想や音楽の構造や歌詞を根拠に考えを持ち、交流することを通して思いや意図を持つ（器楽：陽気な船長／鑑賞：白鳥／歌唱：とんび）。				
終末	○旋律の特徴を感じ取る学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱・器楽・鑑賞に取り組み、様々な旋律の特徴に親しむ。				

本時 （ 7 ／ 全 8 時 間）	ねらい	9小節～12小節の「ピンヨロ～」の歌唱表現について、旋律と歌詞の情景を関連付けて捉えたり、情景に合う強弱をつけた歌い方を歌いためすことを通して、<u>どのように歌うかについて自分の考えをもてるようにする。</u> （下線部…題材の評価規準との関連【◆思・判・表 ワークシート記述】）		
	学習過程	「めあて」 「“とんび”の様子にぴったりの歌い方を見つけよう」 『課題』 『3段目の「ピンヨロ～」はどう歌うとよいか』 『まとめ』例 『思い浮かべたとんびの様子に合わせて、遠くのとんびの鳴き声は小さく、近くのとんびはやや大きく歌ったらよい』 「振り返り」の視点 ・みんなの3段目の歌い方をきいて、あなたはどの歌いたいですか		
	努力を要する状況の児童生徒に対する手立て	【予想されるつまずき】	【必要な支援・手立て】	
		・強弱を工夫することによる効果と曲の特徴、歌詞をつなげて考えることが難しい。		・“とんび”が飛んでいる様子について、「4つのピンヨロ～は同じとんびかな」「遠くにいるのかな？近くかな？」「遠くのとんびの鳴き声はどれくらいの大きさを聴こえるかな？」など、想像を膨らませながら強弱表現とつなげることができるようにする。